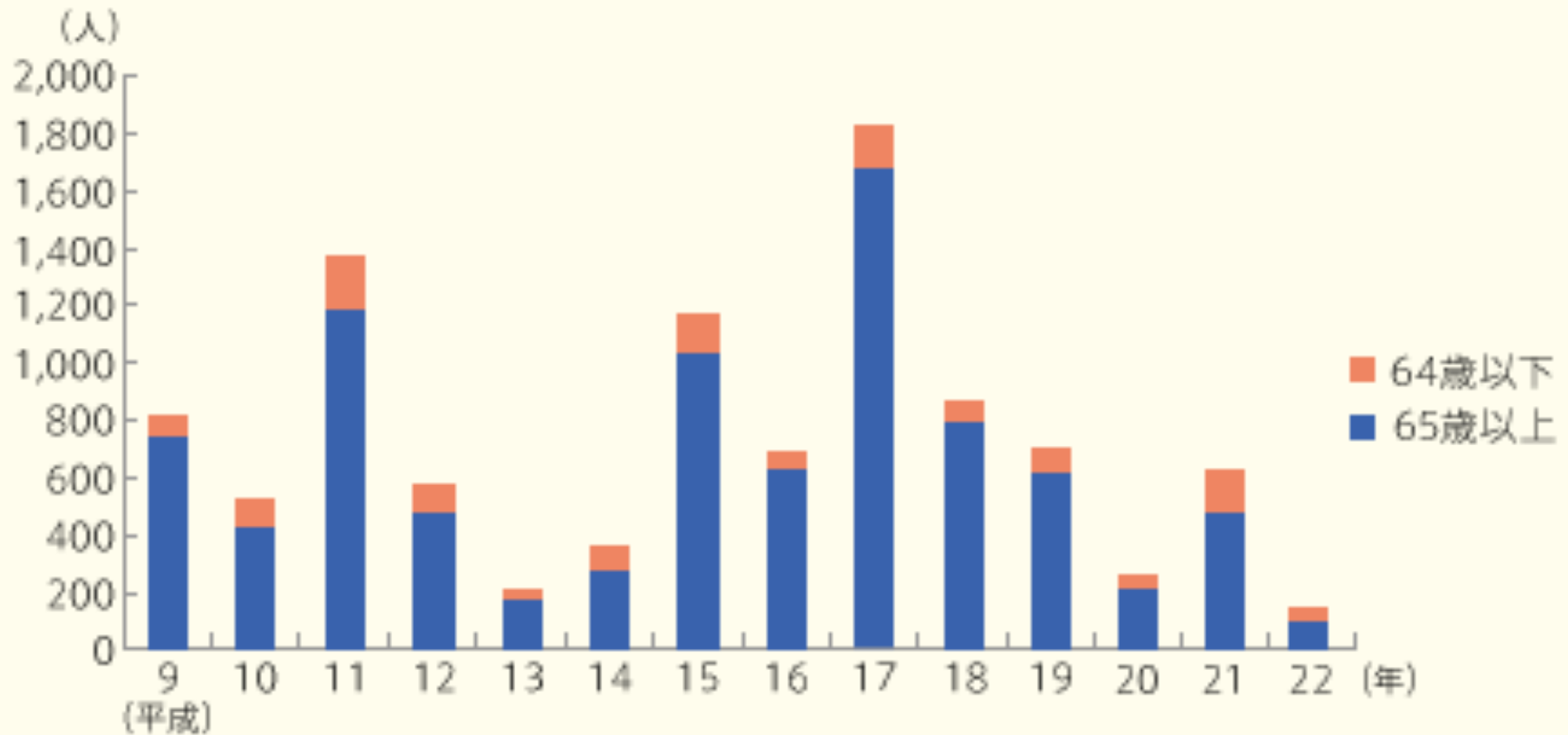


日常の感染対策

インフルエンザを例にして考えてみましょう。

医療安全部
感染管理認定看護師
目次香

インフルエンザによる死亡者数



厚生労働省「人口動態統計」より作成

インフルエンザ拡大防止のために

せき 咳エチケットに ご協力ください



せき
咳やクシャミをするときは、
ハンカチやティッシュで
口と鼻を被いましょう。



使用したティッシュは
ゴミ箱に捨てましょう。



呼吸器症状のある方は
マスクをしましょう。



咳やクシャミをした後は、
手を洗いましょう。

山陰労災病院
院内感染対策委員会

ご存知ですか？

- 冬に限ったことではありません。
- 咳でうつる病気は、インフルエンザ以外にも沢山あります。



「手指消毒」ご存知ですか？

病院での感染予防

手指衛生は
感染対策の
基本です。



病室の入室時・退出時には
病室の前に備え付けてあります
アルコール消毒液を使用して
手指消毒をお願いします。

- 病院に限ったことではありません
- 特に病院は免疫能が低くなっている患者の集団である。
- 患者自身が病原微生物を持っている可能性がある。

インフルエンザ検査は 完ぺきではない

- 検査結果が陰性(マイナス)だからと言って安心できない。

検査は100%正確な検査ではない

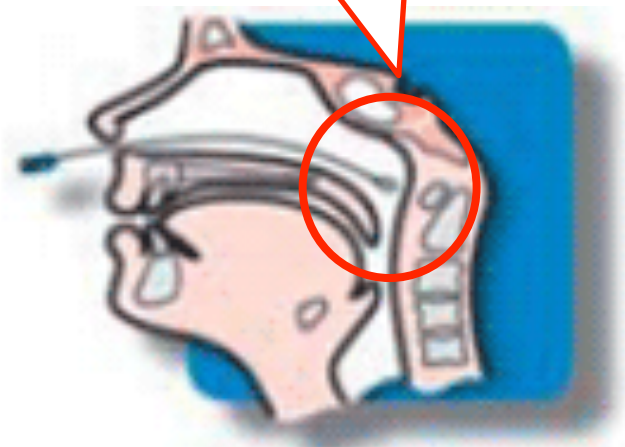
1、鼻腔拭い液：約80～85%

2、咽頭拭い液：約60～80%

3、鼻腔吸引液：約90～95%

- 発病後1日以内は感度が低い
- 検査は痛いです。

インフルエンザ
ウイルスは
咽頭周辺で
増殖する。



ワクチンの有効性

接種
しました??

	麻疹	風疹	流行性 耳下腺 炎	水痘	インフル エンザ
ワクチン の効果	95%	95%	90%	90%	80%

- ワクチン接種後、抗体ができるまでには**2週間程度**かかる。
- ワクチン接種後は必ずしも感染しないわけではないが、感染した場合でも、重症化しない。

健康管理

普段の健康管理が重要です。



洗い残しが多い部分



手の甲



手のひら

- 最もミス発生頻度が高い
- ミス発生頻度が高い
- ミス発生頻度が低い

うがいについて

- 実は、インフルエンザに対して効果があるか無いかは不明。
- けれど、他の効果は期待できる。
- イソジン等の消毒液を使わなくてもあまり効果は変わらない。
- 塩水は、塩分制限が必要な方は、注意が必要。



面会



- 面会は患者様の励みになる一方で、状態によっては患者様の体力低下につながります。短時間に済ませるよう心がけていただくようお願いいたします。
- 午前中は、処置を主にする時間に充てております。他の患者様の妨げになる場合もありますので、ご遠慮ください。
- インフルエンザ等、潜伏期間にある場合も考えられます。流行時やご家族に罹った人がいらっしゃる場合、ご遠慮願います。

自分のため！？

- 家族のため
- 周りの人のため
- 世のため人のため
- 未来のため

